

イベント報告

関西・大阪21世紀協会は、「交流と助成」「発掘と発信」「伝統と創造」を事業の3本柱としています。その中から2016年7～10月に実施された事業をご紹介します。

交流と助成 万博記念基金やアーツサポート関西による助成事業や、アートストリームなどの人材育成および支援事業。

発掘と発信 関西・大阪のポテンシャルや、歴史・文化に根ざした地域の魅力の発掘・発信事業。

伝統と創造 広域連携の結節点となり、関係団体とのコラボレーションにより新たなまちづくりを促進。「大阪城フェスティバル」構想の取り組み、上方伝統文化の振興、保護・育成。

アートストリーム 2016

2016年9月30日～10月2日／大丸心齋橋店

主催：アートストリーム実行委員会(大阪芸術大学、大阪府、大阪市、関西・大阪21世紀協会)

関西で活躍するアーティストやクリエイターの発掘、発表の場と活躍の機会の提供を目的とし、大丸心齋橋店にて作品の展示と即売を行うものです。2003年にスタートして以来、今回で16回目を迎え、3日間で延べ約4,000人の来場者で賑わいました。

今回は一般公募で選ばれた89名が出展し、審査員の選考により、最高賞のグランプリ(賞金30万円)が安本香織さん、奨励賞(賞金5万円)がAKANE KOJIMAさん、橋本ユタカさん、藤原正和さんに贈呈されました。また、仕事のオファーや個展開催などが副賞となる「企業・ギャラリー賞」は、IWACOさん(人形／関西・大阪21世紀協会賞)や杉山恭平さん(ペン画／アーツサポート関西賞)ら20名に贈呈、来場者のアンケート投票によるオーディエンス賞にはMon Monsterさん(立体・キャラクターデザイン)が選ばれました。

安本さんの作品「FIGHT! 日本もFIGHT! 私もFIGHT!」は、一旦描いた絵を破ってコラージュした大胆な作風。「日本各地で自然災害が相次ぎ、自分自身や周囲にも良くない出来事が続いていた。だから創造と破壊で自分自身を再生し、ファイトを持って戦う気持ちを表現することで、元気を発信したい」と、自作について語りました。また、初参加で受賞したIWACOさんは、「PEACE・平和」をテーマに、布や片方だけのイヤリングなど、さまざまな素材を貼り付けた人形や面を出品。「PIECE(断片、部品)は、PEACE(平和)」にもつながる。いろんなピースを組み合

わせ、貼り付けることで、いろんな人のいろんな平和を表現したかった」と受賞の喜びを語りました。

審査委員長の絹谷幸二氏(洋画家、文化功労者)は、受賞者発表で、「会社の中では、引きこもりの人は務まらない。でも、私たちアーティストは引きこもらないと作品を創れない。そういうアーティストと企業の担当者が接点を持つことはとても良いことだ。アーティストの世界は一般社会の常識と真逆で、入学試験のようにみんなと同じ答えを出すのでは創造的とは言えない。このアートストリームの場で、接点を持つことで双方の創造力を刺激しあってほしい」とエールを送りました。



会場風景



審査員と受賞者の皆さん



グランプリの安本香織さんと作品



関西・大阪21世紀協会賞のIWACOさんと作品

DOORS インターナショナルワークショップフェスティバル

2016年8月18日～28日／大阪会場(メビック扇町、旭区民センター、大阪市立芸術創造館、堺市立美原文化会館)
京都会場(左京いきいき市民活動センター[西部・東部])

主催：IWF実行委員会(LLPアートサポート、関西・大阪21世紀協会)

大阪には、多彩なアーティストや芸術家があります。そうした人々を講師に迎え、「誰もが気軽に参加できるワークショップフェスティバル」、「文化は人がつくる」をコンセプトに本年度で10年目を迎えました。今回は、大阪市・堺市・京都市の3都市で合計142講座(うち京都は17講座)を開催。京都では、IWF実行委員会から運営の指導を受けた「京都ドアーズ実行委員会」による開催が実現し、これまでの活動が実を結び地域的な広がりを見せました。大阪会場では125講座に延べ約1,500人が参加しました。



演劇ジャーナリストの徳永京子さんが舞台鑑賞のコツを伝授する「劇評ワークショップ(メビック扇町会場)」

交流サロン 21café

放送の地域における役割 山本雅弘氏(株式会社毎日放送 相談役最高顧問)

2016年7月28日／高麗橋BLACK BOX

テレビ放送の歴史にはじまり、地上波テレビ放送のデジタル化のメリットや4K技術などについて具体例をあげて解説。地域免許事業である放送局は、地域における必要な情報を的確に送り出すことを基本に、地域の経済や文化などさまざまな活動にジョイントし、発掘し、創造する「スーパーリージョナルステーション」として地域貢献を果たす役割があると力説されました。



山本雅弘氏

レミ賞受賞と日本映画に思うこと 牧賢治氏(株式会社読売連合広告社 クリエイティブディレクター)

2016年8月31日／中之島プラザ

第49回ヒューストン国際映画祭(通称：Remi Awards[レミ賞])の短編映画コンペティション部門でGOLD REMI AWARDを受賞した「japing(ジェイピング)」を上映。自身初の脚本・監督を務めた同作について、アウトローとアニメファンの交流を題材にした理由や、20万円の超低予算で撮影から編集までサラリーマンとの二足のわらじで6日間で制作した裏話などを紹介されました。



牧賢治氏

ガウディ建築の秘密 田中裕也氏(建築家)

2016年11月2日／中之島LOVE CENTRAL

スペインの建築家アントニオ・ガウディ(1852～1926)研究の第一人者である田中氏は、現地でも約40年間にわたってガウディの主要な建築物を実測し、そこに秘められた「ガウディ・コード」を発見。田中氏がガウディ建築に魅せられた理由や、無一文で始めた現地調査、ガウディの建築装飾に込められた意味などを画像を映して紹介されました。



田中裕也氏

南大阪・上町台地フォーラム 「真田幸村の足跡を訪ねる」

第1回・九度山 2016年10月14日／和歌山県九度山町

真田信繁(幸村)ゆかりの地を巡る第1回。徳川家康に命じられ高野山に蟄居した真田昌幸と幸村は、その後、高野山を下りて九度山に14年間定住しました。調査チームは、九度山語り部の会のボランティアガイドの案内で真田の抜け穴伝説が残る「真田古墳」をはじめ、昌幸・幸村父子の屋敷跡に建てられた寺「真田庵(善名称院)」や同寺境内の「真田宝物資料館」、「九度山・真田ミュージアム」を見学しました。



真田庵にて

第2回・玉造～大阪歴史博物館 2016年10月26日／大阪市天王寺区、中央区

真田幸村の激戦の地・上町台地を巡る第2回。講師・旭堂南青さんの案内で、大坂冬の陣の際に幸村が築いた出城「真田丸」の跡地「三光神社」や、幸村とその子大助の供養のため江戸時代に建てられた「心眼寺(しんがんじ)、大坂城の鎮守として信仰された「玉造稻荷神社」を散策し、大阪歴史博物館で幸村にまつわる新発見資料などを見学しました。



旭堂南青さん



三光神社に残る「真田の抜け穴」

日本の文化に親しむ「花の宴」

2016年10月19日／国立文楽劇場

主催：(公財)関西・大阪21世紀協会 上方文化芸能運営委員会

協力：(株)桂米朝事務所

関西・大阪21世紀協会 上方文化芸能運営委員会は、上方伝統芸能の保存・発展と伝統行事の継承を目的にさまざまな活動をしています。今回の「花の宴」は、舞楽、長唄、落語と踊りを3部構成で鑑賞できる盛りだくさんな内容で、会場の国立文楽劇場(大阪市中央区)は600人を超える観客がうめつくす大盛況となりました。

第1部の舞楽では、天王寺楽所雅亮会有志の皆さんが、宮廷の慶事の舞「萬歳楽」と、猛獣に殺された親の仇討ちからの凱旋、あるいは唐の皇后が嫉妬に狂った様を表わすともいわれる激しい動きが特徴の「抜頭」(ばとう)を、平安時代さながらに、鳳笙(ほうしょう)・箏(ひちりき)・龍笛(りゅうてき)と打物の演奏に乗せ披露しました。

第2部は、人間国宝の今藤政太郎さん(三味線)、柀屋東成さん(唄)、藤倉呂浩さん(小鼓)らによる長唄「船弁慶」。能楽や歌舞伎でもよく知られた曲目ですが、この日のために、政太郎さんの師匠である三世今藤長十郎さん

の「新・平家物語」から「いつくしま」の前奏曲が使われるというめずらしい趣向で会場をわかしました。

第3部では、落語「七段目」と踊りを組み合わせた華やかな舞台が繰り広げられました。桂米團治さんの軽妙な落語に合わせ、京都宮川町の芸妓さん、舞妓さんのあでやかな座敷舞。つづいて、元宝塚歌劇団の瀬戸内美八さん、美翔かずきさん、彩輝なおさんが歌と踊りで舞台を盛り上げ、さらに徳島の阿波踊り連「阿保連」と、「阿波踊りグループ虹」の面々が賑やかに登場し、観客も巻き込んでフィナーレを飾りました。



舞楽の解説をする願泉寺住職の小野真龍さん(左)と案内役の落語家・桂歌之助さん



襲(かさね)装束の4人が舞う「萬歳楽」(天王寺楽所雅亮会有志)



8世紀にベトナムから伝わった楽曲とされる「抜頭」(天王寺楽所雅亮会有志)



京都宮川町の芸妓、舞妓による座敷舞(落語「七段目」の大星由良之助が一力茶屋で茶遊びに興じる場面で登場)



長唄「船弁慶」(人間国宝 今藤政太郎さんの大阪での最後の舞台)「船弁慶は悲劇の英雄・義経と悲劇の公達・知盛の「滅びの美」をいとおしんだ曲で、幕末から明治の大名入、二代目柀屋勝三郎の傑作中の傑作(今藤政太郎さん談)」。



落語「七段目」を口演する桂米團治さん



瀬戸内美八さんの唄と踊りによる民謡メドレー



美翔かずきさんと彩輝なおさんによる「木遣りくずし」



「阿保連」とグループ虹による阿波踊り(阿保連は徳島県で有数の歴史のある文化庁指定の連)

撮影：©越田悟全

関西・大阪21世紀協会賛助会員
入会のお願い

関西・大阪の活性化のため、皆様のご支援をお願いします。

会費(何口からでも結構です)

■法人会員1口につき年会費10万円

■個人会員1口につき年会費1万円

特典

1.協会が発行する刊行物の配布

2.協会が主催する各種セミナーなどへの案内

3.賛助会員の参考となる情報・資料の提供など

お問合せ (公財)関西・大阪21世紀協会 総務部

公益財団法人

関西・大阪21世紀協会

ホームページ <http://www.osaka21.or.jp>

発行日/平成28年12月20日

編集・発行/公益財団法人 関西・大阪21世紀協会

〒530-6691 大阪市北区中之島6丁目2番27号 中之島センタービル29階 TEL.(06)7507-2001 FAX.(06)7507-5945

発行人/佐々木洋三 編集協力/株式会社インサイト 印刷/株式会社NPCコーポレーション

本誌は再生紙を使用しています。